



Cisco Cloud Network Controller 上の AWS トランジット ゲートウェイ

• [Cisco Cloud APIC の AWS Transit Gateway \(1 ページ\)](#)

Cisco Cloud APIC の AWS Transit Gateway

Cisco Cloud Application Policy Infrastructure Controller (APIC) リリース 5.0(1) 以降、Cisco Cloud APIC で Amazon Web Services (AWS) Transit Gateway を使用できます。AWS Transit Gateway は、仮想プライベートクラウド (VPC) 間の接続を自動化する内部ルーターとして機能するサービスです。VPC は、クラウドサイトのさまざまな AWS リージョンに配置できます。

仮想プライベートクラウド (VPC) は、追加の構成を行わないと相互に通信できません。AWS Transit Gateway を使用せずに、VPC ピアリングを設定することで VPC 間通信を設定できます。または、VPN トンネルと CCR を使用できます。

ただし、Cisco Cloud APIC で AWS Transit Gateway を使用すると、VPC または VRF を同じ AWS Transit Gateway に関連付けるだけで、クラウドサイトの VPC または VRF を接続できます。

Cisco Cloud APIC で AWS Transit Gateway を使用すると、パフォーマンスの向上、シンプルさ、スケーラビリティ、潜在的なコスト削減など、いくつかの利点が得られます。



(注) Cisco Cloud APIC ユーザーテナントの VPC (CtxProfile) を AWS Transit Gateway (ハブ ネットワーク) にアタッチできるのは、管理者権限があり、ユーザーがセキュリティドメイン「all」の一部である場合のみです。このようなアクセスがないと、ユーザーテナントの VPC を AWS Transit Gateway にアタッチできません。

Cisco Cloud APIC で AWS Transit Gateway の使用の詳細については、「[AWS トランジットゲートウェイ](#)または[AWS トランジットゲートウェイコネク](#)を使用した VPC 間の帯域幅の増加」を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。